民事執行・保全法

(Civil Execution and Preservation Law)

1・2学期 集中

授業時間：75分×20回

単位数：2単位

履修年次：3年次

担当教員：和田吉弘

研究室：

授業の到達目標：

本授業は、民法や民事訴訟法との関係を重視しつつ、多くの具体的な例を基に、民事執行法・民事保全法の仕組みと基本的な諸問題について理解することを目標とする。

授業概要：

本授業は、民事執行手続及び民事保全手続の仕組みと基本的な諸問題について、双方向により行われる。毎回（1日で2回分を扱うので、以下それを1回と表現する。）、事前に教科書の次回の範囲を精読してくることが求められる。各回は、基本的に、①前回の復習、②教科書の指定範囲の解説・質疑及び③応用問題をういた集中訓練（「10分起案」）から成る。③のための予習は不要である。①～③は、いずれも試験ではなく、使用したプリントの回収も行わないが、双方向のやり取りで顕著なものがあれば、成績評価の上でプラスにもマイナスにも加味することがある。

評価方法：

期末試験（ペーパーテスト）の結果により評価するが、前記のように、授業における双方向のやり取りで顕著なものがあれば、成績評価全体の10%の範囲でプラスにもマイナスにも加味することがある。

教科書：

和田吉弘『基礎からわかる民事執行法・民事保全法〔第2版〕』（弘文堂）

参考書：

伊藤眞＝上原敏夫＝長谷部由起子編『民事執行・保全判例百選』（有斐閣）。その他は、授業時に指示する。

授業計画：

- 第1回 民事執行法の概観、強制執行の意義・種類、債務名義（教科書1～25頁まで）
- 第2回 請求異議の訴え、執行文（教科書26～53頁）
- 第3回 執行機関、強制執行開始要件、強制執行の停止、執行異議と執行抗告、第三者異議の訴え（教科書54頁～81頁）
- 第4回 違法執行と不当執行、金銭執行の諸段階、優先主義と平等主義、強制競売(1)（教科書82～112頁）

- 第5回 強制競売(2)、強制管理、船舶執行 (教科書 112～132 頁)
- 第6回 動産執行、債権執行(1) (教科書 133～160 頁)
- 第7回 債権執行(2)、非金銭執行 (教科書 161～181 頁)
- 第8回 担保権の実行としての競売等 (教科書 182～202 頁)
- 第9回 財産開示手続、民事保全序説、保全命令手続(1) (教科書 203～226 頁)
- 第10回 保全命令手続(2)、保全執行手続 (教科書 226～245 頁)